

特集

交通安全推進協議会



町議会

町の交通安全にご尽力いただいている交通安全推進協議会の皆さまにお集まりいただき、お話を伺いました。

委員になって20年

無事故無違反継続中

Q 瑞穂町の印象は？

- ―生まれも育ちも瑞穂町。今も変わらず緑豊か。昔はホタル狩りとかしたなあ。
- ―自然がいっぱい。
- ―小出身。今でも校歌歌えます。瑞穂町は自然と音楽の町。朝は鳥の声、夜は虫の声が聞こえる。キジも飛んでくる。
- ―スーパ―も近くて住みやすい町。
- ―昭和時代の「人とのつながり」を残す町。田舎。でも、家が立ち並びだして・・・これから発展する町だと思う。
- ―結婚して瑞穂に来た。自然に触れることができる、子育てしやすい町。

Q 委員を引き受けたきっかけは？

- ―町内会の役員の先輩から頼まれて。
- ―地域ボランティアをするのが当たり前の環境で育ったし、人の役に立ちたいと思ったから。
- ―ある日突然、町内会長さんがやってきて・・・
- ―消防団のお誘いを断り続け、もう大丈夫かと思ったら、家族が引き受けてしまっていて・・・
- ―私も「ちつとんべえやってみんべえか」って前の支部長さんに頼まれて。
- ―集金した町内会費を納めに行ったところ

「ちようどよかった！」その場で頼まれ、断れず。

Q 引き受けてよかったと思うことは？

- ―人の輪が広がった。
- ―素晴らしい先輩に巡り合えた。
- ―交通安全に「役買っている」と思えるとき。任務の後、仲間と一緒においしいお酒が飲める時かなあ。
- ―町の行事がいっぱいあったことが分かったし、参加できてよかった。
- ―嫁いできたから知り合いが誰もいなかった。だから、PTAとかいろいろなことに

Q 交通安全について一言いただけますか？

- ―交通安全は一人一人の意識から。
- ―交通事故は、加害者も被害者も「まさか、自分」。
- ―安全は心のゆとりから。朝、ご主人を笑顔で送りだしてあげてください。
- ―ニュースなどで10人亡くなる事故は大惨事として取り上げられる。交通事故で亡くなる人は1日平均11人。実は毎日が大惨事なんですよ。
- ―交通安全講習会に来てほしい。
- ―夜間、黒い服は見えません。
- ―高校生のスマホ、危ない。是非、講習を。委員になって20年。無事故無違反継続中。

Q 議会だより「ギカイのひろば」に一言。

- ―今回、初めて見た・・・ごめんなさい。カラーで読みやすくなった。議員の顔と名前が一致しました。
- ―毎回、楽しく読んでます。議員さんの活動が良く分かる。
- ―議会って遠い存在でした。町民のためによろしく願います。

ご参加いただいた皆様
ご協力ありがとうございました。



【左から】 小野正博さん（第一支部長）、小峰達也さん（第四支部長）、武川浩二さん（第六支部長）、神田廣和さん（副会長）、小山幸久さん（会長）、吉岡起久雄さん（副会長）、鳥海郷子さん（副会長）、鳥海昭子さん（女性支部長）

Q 大変だなあと思う時は？

参加して、人とのつながりを大切にしてきました。委員を引き受けて、更に多くの人と知り合えました。

―仕事との両立。

―お祭りやイベントの裏方として、皆さんの安全を守ることを考えると、人数を確保することが大変。

―交通安全の立哨中、ドライバーから心無い言葉を投げかけられた時。

―思ったことは無いですね。理解ある人たちに囲まれているからかしら。

―お休みが無くなってしまっ。

―腰に故障があるので、長時間の任務や雪の日なんかはつらいですね。

―パートの時間が削られる・・・でも、やりがいがあるので。

―警察官とよく間違われます（苦笑）

Q 今後、瑞穂町がどのような町になってほしいですか？

- ―八高線が充実してくれるといい。
- ―スポーツと音楽が盛んな町になってほしい。
- ―安心できる整備された町。
- ―今のままで十分。
- ―町外から多くの人が訪れるようなイベントや企画がある町。
- ―歩行者にも車にも便利な町。